

★(株)AMA主催 幼児のための応急処置講座レポート！

11月23日に株式会社AMA社屋2階で幼児のための応急処置講座が開講されました。救命救急の基本であり最も重要な人工呼吸・心臓マッサージ・AEDの使い方を総社市消防署の方に教わりました。

小さいお子さんも、大人と同じ方法で基本的には救命してOKなのですが身体が小さい分力加減や機器の扱いで違う部分があり、参加した親子10組の皆さんからも質問があがっていました。

救命練習用人形を使って、救命士さんが救命の実演を始めるとお母さんの回りをうろろろとしていたちびっこもぴたと動きも口も止めて見入っていました。真剣さに圧倒されていたようです。



当日、お母さんから寄せられた質問には実体験を交えたものもあり、皆さん質問への回答を真剣に聞いていました。質問と回答について、ここでご紹介いたします。



①AEDは子どもにも使用して大丈夫？

A:大丈夫です。AEDを開けると、成人用（小学生以上）パッドと小児用（小学生未満）パッドが入っているものと入っていないものがありますが、小児用パッドがない場合は成人用のものをお子さんにも使用してください。通電パッドを貼り付ける場所はAED内のガイドに書いてあります。



②川でおぼれていた人にもAEDは使っているの？

A:パッドを当てると、その間で電気が流れます。電気を通すからだが濡れていると、体の表面の水に電気が通ってしまうのでパッドを貼る胴体部分はタオルなどで水分をぬぐってください。（タオルはAED内に小さいものが入っています）

また、AEDの通電時に感電しないように、マッサージをする人も水分を拭って処置するようにしましょう。蘇生をしたら、安静にするとともに救急車を待つようにしましょう。



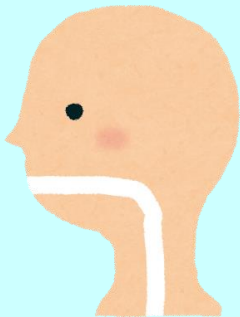
③一歳未満の子供の心臓マッサージは？

A:乳頭線の中央を、指2本で押してください。押し方は胸の三分の1くらいの深さを、真上からぐ、ぐ、と押します。両手を広げて子どもの胸を覆うと、おおよそ両方の親指が乳頭線の中央にあたります。その親指2本でマッサージをしてください。



④やけどの手当ては？

A:電気給湯器の普及によって、お子さんのやけどの例が多くあげられています。やけどしてしまった際には10～15分流水で冷やしましょう。氷や濡れタオルは皮膚にくっついてしまうので使用しないでください。水ぶくれができた場合には、破らないように気を付けてあげてください。よくやけどにはアロエがいいといわれますが、実際の効果は不明です。広範囲にやけどを負った場合や、肌が白色や黒色に変色しているときにはすぐに救急車を呼ぶようにしましょう。救急隊が来るのを待つ間は流水で冷やし続けてください。



⑤飴などをのどに詰まらせてしまったら？

A:おもちゃについては事故を防ぐために様々な工夫が凝らされており、窒息事故は年々減少してきています。子供がのどに何かを詰ませた場合には足を持ち、子供の体を逆さにして肩甲骨の間を手の付け根でぐっ、ぐっと叩いて下さい。頭を下げた状態にさせることが大切です。

119番



⑥119番へ電話するとどんなことを聞かれるの？

A:まずは「救急か消防か」を聞かれます。次に、「場所」を尋ねられます。番地まですぐにわかれば最も良いですがお出かけ先などで土地情報がわからない場合もあるでしょう。固定電話であればすぐに最寄りの消防署に、携帯であれば直近の基地局から消防署へつながります。携帯の場合は、なるべく周りにある目印などを具体的に電話で説明しなければなりません。落ち着いて尋ねられる質問に対応するようにしてください。

当日ご参加くださった皆様、ありがとうございました！株式会社AMAは子育てを頑張っているお母さんを応援したいと考える会社です。お金のこと、保険のこと、ベテランのFPが対応いたします (^ ^)

応急処置講座、次回は夏の開催を予定しています。ぜひご参加くださいませ！

「ジョン先生のわくわく英語レッスン」も月1回開催しています♪こちらもよろしくお祈りします！

エー・エム・エー
(株)AMAはお母さんのチカラ
かになりたい!と考える企業です

保険やお金のお困り事、ご相談ください

こころはいっこ
0120-556-015
受付時間 9:00~17:30